

## 令和3年度 第1回愛知県環境教育等推進協議会 報告

設楽町立田口小学校

夏目 貴 司

## ○ はじめに

- ・北設楽郡は、県北東部の3町村（設楽町・東栄町・豊根村）からなる山間地域
- ・自然環境に恵まれ、設楽町には、小規模ながら2中学校・5小学校がある

## 1 環境教育実践報告について ※別冊資料にて口頭説明

- ・校長初任で着任の田峯小は全校10数名の極小規模校、登録有形文化財の校舎  
※平26着任、実践報告は平27～28の記録
- ・「ビオトープ協力隊」結成～子どもへの「しかけ」  
～子ども自身の「推進力」
- ・「協力隊」をお支えくださった加藤氏の存在
- ・「田峯環境保全会」県知事表彰の荣誉



## 2 提言したいこと（学校にできること～地域との連携）

○自然環境に恵まれた地の子どもたちであっても、適切な働きかけがなければ、主体的に動き出せない！

○地域の教育力を活かし、「地域の先達」を学校に呼び込む時、「WinWinの関係」を築きたい！

※自分たちは要請を受けた「協力隊」であるという、子ども自身のプライド！

○自然環境を守る「持続可能」な取組の大切な一部に、地域の一員である子どもも大人もなり得ること、それらをより多くの人に実感してほしい！

※加藤氏「千年の森」構想は、着実に「人の寿命」を超え「持続可能」になりつつある！ 現任校の自然体験活動にも「驚き」「感嘆」のインパクトあり！

## 3 これからの課題（自身のあり方～広く働きかける姿勢）

- ・「持続可能」な視点で、学校や社会教育の取組を見つめ直し、働きかける
- ・自身の「ルーツ」である設楽町の再発見に努める  
～自身が「ふるさとボランティアガイド」研修受講・登録
- ・自然環境だけでなく、歴史風土を語り継ぐことに努める  
～教員として、地域の一員としてできること



令和3年度 第1回愛知県環境教育等推進協議会 資料

# 環境教育実践報告

前任校・田峯小学校における「ピオトップ協力隊」実践



設楽町立田口小学校 夏目貴司



## 「田峯小の自慢」～朝礼講話から～

damine-e0 (2015年5月18日 19:21)

本年度も、朝礼の「1分間スピーチ」が始まりました。

今日は、高学年だけの発表ですが、何も見ずに、要点をまとめて話す力は、これまでも鍛えられてきただけあって頼もしいものがあります。また、発表者に対して、質問・意見を述べる時間も、それぞれが積極的に関わって、納得のいく答えを導いています。そんな子どもたちの姿は、田峯小の大きな自慢の一つです！

さらに、校長講話では、校庭にある「自慢」を紹介しました。

それは、まさに今、白い花が美しい「ヒトツバタゴ（ナンジャモンジャの木）」の話です。

これが、子どもたちも知っているキーワード「絶滅危惧（ぜつめつきぐ）」種にあたる樹木だと告げると、一同、ほんとうに驚いていました。

また、郡内でも、この木が2本ある学校は珍しいということも申し添え、豊かな自然の中にある田峯の地が、恵まれた環境であることを説明しました。

以前、本校の「ふるさと先生」としてお世話になっている加藤さんからも、環境保全の観点から、近隣の湿地に希少な生物がいることをお話していただいています。

生き物好きの3・4年生が輝かせている瞳の中に、「発見」「チャレンジ」の意気込みが感じられた朝でした！



## さっそく「湿地探検」に出発です！ ～3・4年生～

damine-e0 (2015年5月20日 15:58)

月曜朝礼で「絶滅危惧・ヒトツバタゴ」の話を聞いた3・4年生は、希少生物がいるかも・・・と可能性を信じつつ、近隣の湿地にヤゴ採りに出かけました。

結果は・・・？

ヤゴは1匹も採れず、ドジョウとオタマジャクシを入れたケースを手に戻ってきました。（教頭先生とも相談して、きちんと飼育中です）

さて、次のアタックも楽しみです！

<出発前、ヒトツバタゴの木の下で氣勢をあげるメンバー>



## ヤゴからトンボに！ 元気に飛んでいきました！

damine-e0 (2015年5月29日 18:40)

3・4年生が教室で観察していたヤゴが、その朝、まさにトンボになって飛び立っていきました！

「これはシオカラトンボの雌（ムギワラトンボ）だね！」

子どもたちも成虫の元気な姿にうれしそうですが、「疑問」も残ったようです。

「ヤゴの大きさよりも、トンボの方が大きいのはなぜか？」

まだまだ研究は続きそうです。

さて、今日も中学年玄関前には「濡れた靴」が干されているようです。

学校の池が大好き、地域の湿地が大好きな3・4年生だけに、これからも靴を濡らしながら、どんどん興味をもって「深み」にはまっていく環境学習になりそうです！





## ブナ植樹体験&ハッピー体験をしました！！

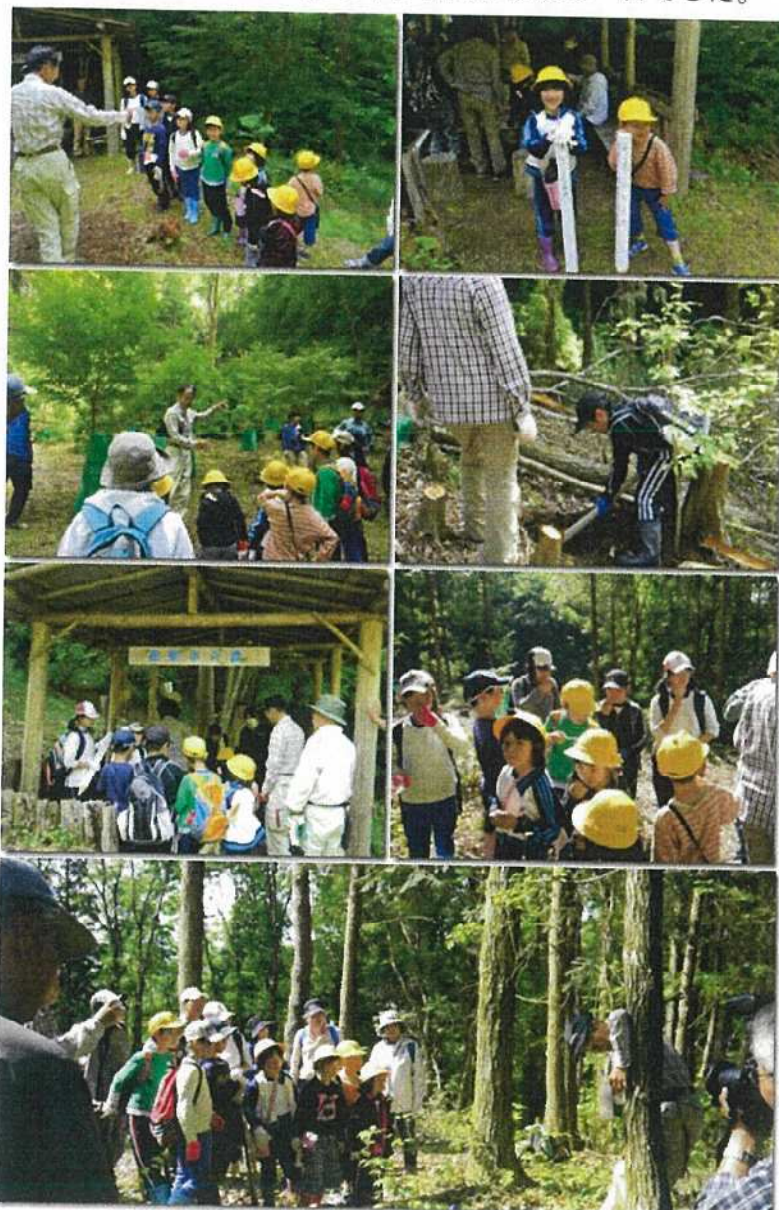
damine-e0 (2015年5月29日 19:48)

今日の午後は、本校の「ふるさと先生」である加藤さんを講師にお迎えし、沖ノ平の「田峯小の森」に出かけました。

一人一人が「標柱」を添えて行うブナの植樹のほか、お楽しみメイプルシロップを味わう体験もあり、設楽の山のよさを学ぶ半日となりました。

今回は、町役場からの声かかりで、森の中で「ハッピー」の曲に乗って踊る姿も撮影してもらいました。映像が完成すると、町全体、そして全国の仲間と共にリズムに乗って作り上げる「ミュージックビデオ」になるそうです。

子どもたちにまた一つ楽しみが増えた初夏の一日でした。





## 「ふるさと先生」からのお願い！ ～環境保全活動～

damine-e0 (2015年6月16日 19:27)

3・4年生の「総合的な学習の時間」に、「ふるさと先生」としてお世話になっている加藤さんをお招きし、子どもたちが「研究」している「学校南側の湿地帯」のことについて、お話をうかがいました。

加藤さんからは、子どもの頃から慣れ親しんでいた地域の自然のお話とともに、現在、ご自身も調べようとしている湿地帯のことについて、本校の子どもたちに対し「協力要請」がありました。

「そこにいる生き物には、現在どんなものがあるのか、実際につかまえて教えてほしい」

加藤さんの呼びかけに、子どもたちもはりきって答えました！  
たもの正しい使い方も教えてもらい、これからの「調査」を楽しみにしている“峯っ子”です。



## 今日も「湿地探検」にGO！！ ～3・4年生～

damine-e0 (2015年6月23日 18:00)

先日、「ふるさと先生」加藤さんから、湿地の生き物についてお話を聞いた3・4年生が、今日も「湿地探検」に出かけます。

たもを振り振り、元気いっぱいです！

さて、学習の成果、収穫はいかに？

「いまだ！」という気持ちでチャレンジする子どもたちに、心からエールを送りたいと思います！



## 地域の方から学ぶ「環境保全活動」

damine-e0 (2015年7月15日 13:16)

中学年が、総合的な学習の時間の実践で「ビオトープ協力隊」を結成して早2か月！地域の方のご厚意で、田んぼの脇に広がる湿地帯をお借りし、楽しみながら地道な活動を続けており、先月末には授業公開もできました。

14日、学期最後の「ふるさと先生」加藤さんに学ぶ調査の日を迎えるにあたって、中学年は「全校の仲間にも知らせたい」と、全校活動を提案してくれました。職員をはじめ、設楽町の地域おこし協力隊・中井さんも、興味津々で参加です！

中学年がそれぞれ「隊長」となって、3隊に分かれ、自分たちの学びを伝えたり、新しい発見をめざして一緒に調査をしたりして、楽しい時間を過ごしました。

高学年女子は、小さな1年生の安全面をととても気づかっています。「滑る」「転ぶ」「はまり込む」湿地帯で、みんなが楽しく学習できるように、心配りをしている様子がよくわかります。



まるで「宮崎アニメ」のような、すっきりと晴れた田園地帯の中、子どもたちの歓声が響きます。

「マツモムシは、背泳ぎみたいに泳ぐね！」

「コオイムシは、自分より大きなカエルを食べるって!？」

観察したことや、加藤さんのお話をもとに、まさに体で学ぶ体験ができました。

帰校後は、加藤さんからいただいた写真資料をもとに、今日見つけた生物についてしっかりとまとめができました。

地域の豊かな自然について、みんなで思いを高める日になりました！



## 自由研究発表会② ～スペシャルゲストを迎えて～

damine-e0 (2015年9月29日 10:44)

今回の、自由研究発表会には、地域の「自然の先生」加藤博俊さんをお迎えしました。

加藤さんには、樹木、鳥、虫など、毎年いろいろな場面で、自然の素晴らしさを教えていただいております。本年度は特に、中学年の湿地帯の環境整備活動、ビオトープづくりのご指導をいただいております。

“峯っ子”の研究発表について、まずは、自然や身の回りのことに関心をもって「切り込んで」いく姿勢を評価していただきました。その上で、生涯にわたって、自分の生まれ育った地の自然を守る活動の意義と、回りに働きかける趣味をもち続けることの大切さを教えていただきました。

「人生の設計図」を3つのステージ（学業修了までの期間・社会人としての期間・その後の期間）に分けて、ご自身がその中で大切にしてきた思いを、教室の小窓を使った「紙芝居形式」でお話していただきました。

恩師との出会い、優れた先人への憧れ、少年時代や青年時代に実際に挑戦してみた成果と、60代から取り組みたい「夢」など魅力的なお話がいっぱいです。中でも、お金を貯めて手に入れた山林を、これからの時代を担う“峯っ子”たちにも「開放」し、大勢の人たちの協力を得て守り続けていきたいという壮大なビジョンには、本当に心を打たれました。

「自分にできることから！」“峯っ子”の思いもぐんぐんふくらんでいく、そんなお話をうかがうことができました。

加藤さん、本当にありがとうございました！





## 「ビオトープ協力隊」報告会を実施！（3・4年生）

damine-e0 (2015年11月26日 12:48)

25日には、3・4年生が「総合的な学習の時間」で、ずっと挑戦し続けてきた、環境保全活動の報告会を行いました。

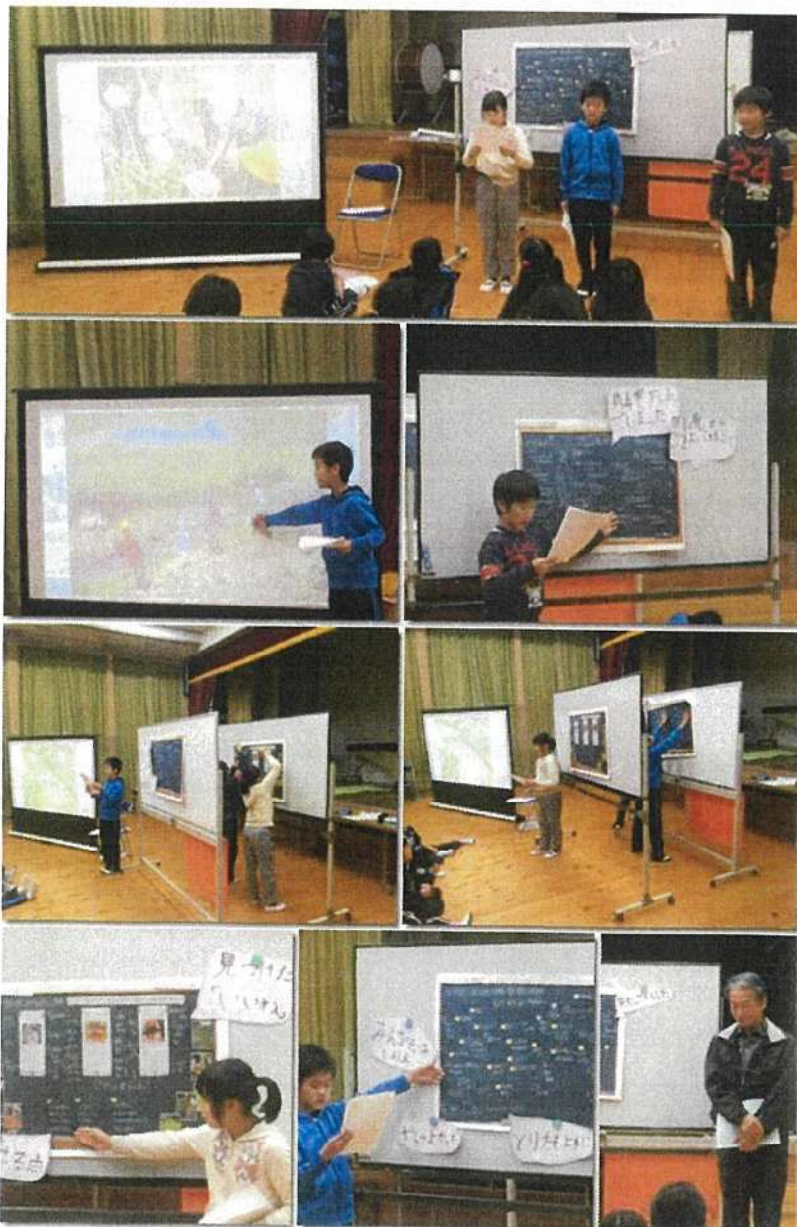
ご指導をいただいていた、自然の先生・加藤さんをお招きし、一年間の成果を発表する日です。

それぞれが、発表者、補助係、裏方・準備係と、めまぐるしく入れ替わる役割を担い、プレゼン画面、ホワイトボードのポスター、そして、手書きの「吹き出し」を駆使して、わかりやすく発表していきます。

全校も、2度、観察会に参加しているだけに、見つけた生物の紹介や、活動場面のプレゼンには釘付けになっているようでした。

加藤さんから、この活動の拡大、地区の人に広く知らせることの意義についてお話しいただき、報告会は大成功でした！

「いまだ！ すまいる！ 切りひらけ！」それぞれが随所に見られ、“峯っ子”の活動の幅が、また一つ広がった思いのする素敵な会になりました！！



## 中学年教室から ～「熱い」議論が展開中～

damine-e0 (2016年1月21日 13:22)

中学年は、この一年、「ビオトープ協力たい」という看板を掲げ、地域の湿地帯調査を含む環境保全活動に取り組んできました。

今日の授業では、これまでの成果を、現地への「案内看板」設置という方法で、広く地域の人に知らせたいという思いを述べ合っていました。

これまで、教室の壁面をいっぱいにしてきた学習内容掲示を振り返っては、現地看板への「これだけは！」を「熱く」語る姿勢が印象的でした。



## 見てね！「だみねビオトープ」の看板！

damine-e0 (2016年3月23日 10:48)

本年度、本校中学年が取り組んできた「地域と連携した環境保全活動」も、春休み前に一旦まとめをして、次年度に引き続き取り組んでいきます。

現3・4年生で行う最後の活動は、念願だった「看板かけ」です。

教頭先生に「脚」を作ってもらい、設置にあたっては、通りかかった区長さんにも力を貸していただき、ついに立派な看板がかけられました。

「やっほー！」

予定よりも早くできたため、子どもたちが調査（+遊び!?）を楽しむ時間もできました。調査後は、手足、顔、髪の毛まで泥の「勲章」付きの記念写真が撮れました。

「もう、水が冷たくないね！」

川で泥を洗い流す子どもたちの歓声からも、春の訪れを感じることができました。



本活動にお力添えをいただきましたすべての皆様に感謝するとともに、次年度のご支援もよろしくお願い申し上げます。





## 山の恵みをつなぐ 貴重な体験 ～ブナ植林～

damine-e0 (2016年5月26日 17:10)

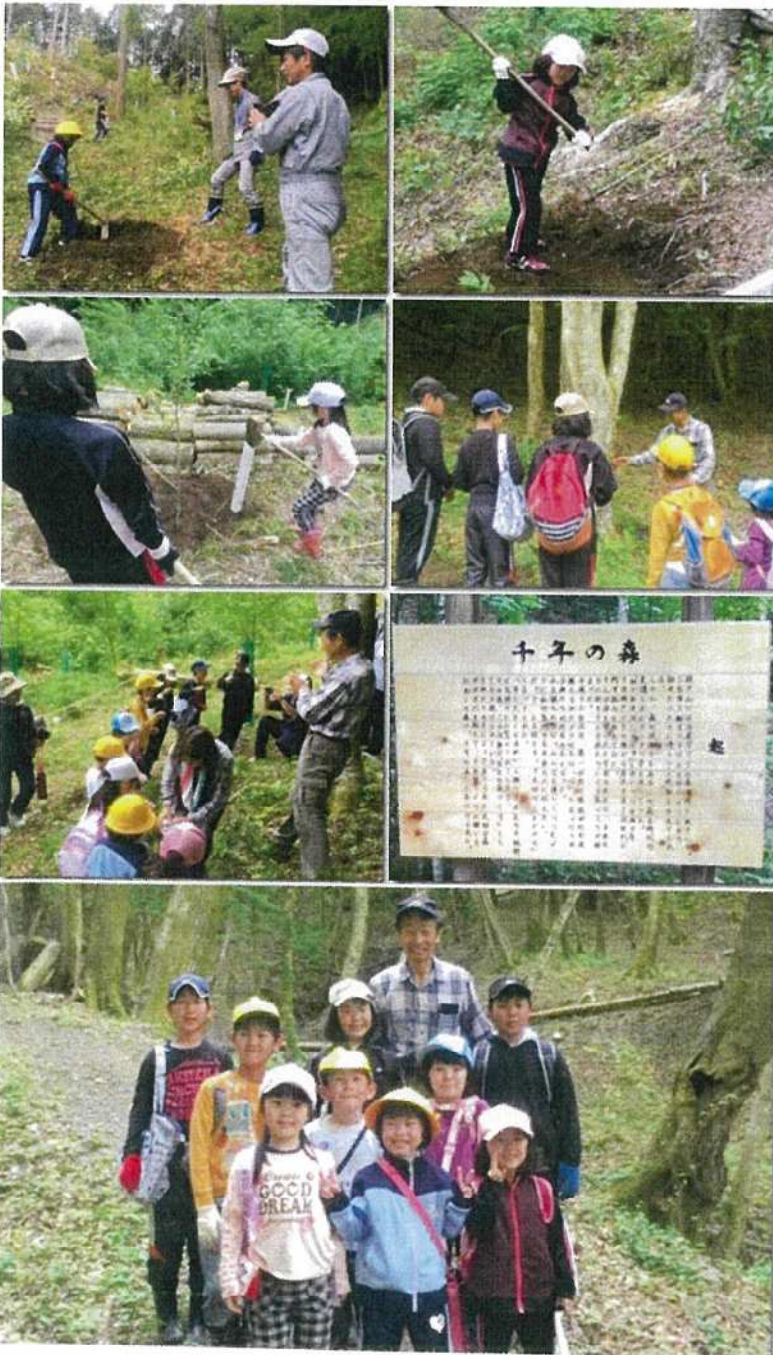
当地の「自然の先生」加藤さんのお世話になって、本年も全校でブナの植林体験ができました。1年生のいるご家庭では、お父さんにも参加していただきました。

本校ではもう十数年来、継続してご指導をいただいています。高校生になっている先輩の、小1の時に植えた苗木が、大きく立派に育っていることに、一同感激してしまいました。

今日、私たちが植えた苗木も、加藤さんたちの手によって、土の管理をはじめ生長に必要なさまざまなサポートをいただきます。シカに枝を食い荒らされないようネットを巻いてくださることも、子どもたちはあらためて認識していました。

加藤さんには、「千年の森」の夢の話もしていただきました。ご自身お一人の夢ではなく、家族や地域の仲間、そして私たち田峯の子どもたちも加えていただいています。

みんな笑顔で、自分の苗木に思いを込め、山を後にしました。





## 全校ビオトープ観察会 ～3・4年生がリーダーです～

damine-e0 (2016年7月14日 12:32)

本校の「2代目～ビオトープ協力隊」である3・4年生が、この1学期の学習成果を発表するとともに、全校にビオトープを「体験」してもらおう観察会を企画しました。

このビオトープは、地区の方のご厚意で、休耕部分の田んぼをお借りして進めている、本校の新しい特色ある活動です。



複式授業用の学習ツール「ミニホワイトボード」をフル活用して、今学期の「協力隊」の歩みを発表した後、3・4年生の一人一人がリーダーとなる3班編制で、調査活動の「体験」がスタートしました。





どの班も、当ピオトープの環境の「指標」となるホトケドジョウはすぐに見つけ出し、各種カニ、カエル、トンボを横目に、「絶滅危惧」が言われる種の発見に努めています。

「カヤネズミの巣だ!」「アカハライモリ発見!!」

中盤のにぎわいの中には、ホワイトボードに示された写真と比べ「同じだ!」と喜びの声をあげる低学年の姿もありました。

終盤には、自然の先生・加藤さんから提供された「秘密兵器」も飛び出し、まわりの樹木に棲息する生物も採集できました。かわいいシャクトリムシを手にした低学年は、じっくりと動きを観察していました。



全校で、たっぷりと自然とふれ合う活動ができました。

ご指導をいただいてまいりました加藤さん、この1学期間のお導き、ほんとうにありがとうございました。また、今後とも、よろしくお願いいたします。

子どもたちの「夏休みの研究」にも、どうぞご期待ください。



## 「農村環境保全活動」の受賞！～ビオトープ活動も～

damine-e0 (2016年11月22日 19:21)

田峯区の「農村環境保全活動」が愛知県で認められ、県知事賞をいただくことになりました。

本校の中学年も、ビオトープづくりや、指標生物の調査でたいへんお世話になっており、ともに来月の「農地・水・環境のつどい」での表彰式（安城会場）に参加させていただくことになりました。



下の写真左は、昨年度の初代「ビオトープ協力隊」、そして、写真中央は、本年度の二代目「ビオトープ協力隊」です。この中から、代表児童が表彰式に参加します！当日の誇らしい笑顔が、今から楽しみです！



お支えをいただきました地域の皆さん方、町当局のご担当者の方々、そして、直接ご指導いただきました「自然の先生」加藤さんに、あらためて感謝申し上げます。

## 県知事賞の表彰伝達 ～田峯区農村環境保全活動～

damine-e0 (2016年12月12日 10:59)

先日、「田峯環境保全会」が受賞した県知事表彰の「伝達式」を、本校で実施しました。

保全会が表彰されたわけですが、本校の「ピオトープ協力隊」が中心となって調査活動を担ってきたことから、保全会長である熊谷さんのご厚意で、本日の式の開催となりました。



熊谷会長さん、事務局の後藤さん、そして、直接活動をご指導くださった加藤さんから、激励の言葉をいただき、全校で喜びを分かち合いました。また、熊谷会長さんからは「学校の活動に役立ててください」と、副賞を寄贈していただきました。



先日の表彰式に参加した代表児童からの感想発表では、これからも、ピオトープ活動をとおして、地域に貢献していきたい思いが語られました。

保存会をはじめ、地域の皆さん方にはたいへんお世話になりました。これからも“峯っ子”は頑張っていきますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。

※本件の詳細は、12月13日付 中日新聞の記事をご参照ください。